

平成 30 年(2018 年)10 月 14 日

第 17 回世界湖沼会議 茨城県つくば市 「湖沼主流化に向けた国際コロキウム」

廣木 ILEC 理事が「Mainstreaming Lakes in Global Agenda – Messages, Targets, Strategy, and Symbolic Actions –」と題して、SLM に向けた象徴的な行動として「世界湖沼の日(WLD)」の設立を提唱



令和 2 年(2020 年)10 月 27 日

UNEP-ILEC 国際ウェビナー

**「世界の水議論における湖沼の主流化」
(Mainstreaming Lakes in the Global Water Agenda)」**



令和 3 年(2021 年)11 月 10 日

第 18 回世界湖沼会議 メキシコ グアナフアト(オンライン)

UNEP-ILEC 特別セッション

「世界の水議論および SDGs における湖沼および湿地の主流化」(Mainstreaming Lakes and Wetlands in the Global Water Agenda and SDGs)



グアナフアト宣言

「人間の健康、福祉、経済発展、および気候変動の影響への対応に関して、湖沼が果たす重要な役割を具体的かつ継続的に認識させるために、国連による世界湖沼の日の制定に努めること。」

令和 3 年(2021 年)11 月末

インドネシア政府から WLD 制定に向けた取組要請を含む「持続可能な湖沼管理(Sustainable Lake Management)」決議案を提案

令和 3 年(2021 年)12 月

ILEC は UNEA 加盟国の各国 CPR(Committee of Permanent Representatives)に対し SLM 決議への賛同請願メール発出

令和 4 年(2022 年)3 月 2 日

第 5 回国連環境総会(UNEA5.2)において WLD を削除した SLM 決議を採択



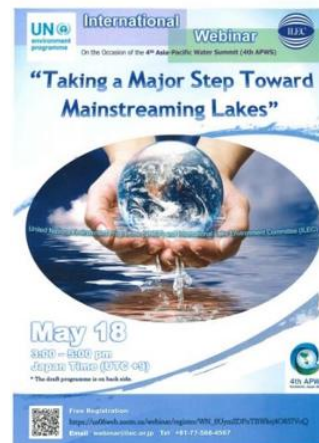
令和 4 年(2022 年)5 月 18 日

第 4 回アジア・太平洋水サミット(4th APWS)関連イベント

第 3 回 UNEP-ILEC 国際ウェビナー「持続可能な湖沼流域管理に向けた 今後の展望」

(Taking Major Step Toward Mainstreaming Lakes)

廣木 ILEC 理事が「Mainstreaming Lakes in Global Agenda – Messages, Targets, Strategy, and Symbolic Actions –」と題し、国連総会(UNGA)における WLD 制定議決に向けた取組を提唱



令和 4 年(2022 年)10 月 15 日

国際シンポジウム 2022 “未来につなぐ湖沼の価値”および ILEC 科学委員会総会を開催

令和 5 年(2023 年)3 月 22~24 日

国連 2023 年水会議(2023 Water Conference)

テーマ別討議 3「気候・強靱性・環境に関する水」においてエジプト代表とともに上川陽子総理特使が共同議長を務め、提言の中に WLD の制定を表記

「11 (前略)気候変動に対応するため、すべての国や関係者が連携し、氷河後退や水質、水辺生態系の悪化などの緊急課題に対応すべきである。そのため、国際氷河年や世界湖沼の日などのシンボリックな日を作り、世界的な関心を惹きつける。」

ILEC からは UNEP とインドネシア政府主催のサイドイベントに Rast 科学委員会委員長と中村副理事長が参加。「水行動アジェンダ(ILEC Water Action Agenda)」を発表

ILEC 水行動アジェンダ抜粋

「さらに、世界湖沼の日の制定は、様々な利害関係者が湖沼の価値を認識し、その活動を促進する機会を増やすことになる。ボトムアップ・アプローチや住民による湖沼のオーナーシップが世界的に徐々に進み、拡大するにつれ、行政だけに任せるのではなく、流域住民が主体的に役割を果たす持続可能な湖沼管理が実現されるだろう。」



令和 5 年(2023 年)10 月 12 日

WWF10 第 2 回関係者準備会合に参加の廣木 ILEC 理事の仲介によりバスキ大臣と竹本理事長・中村副理事長との Web 会議 (Zoom)実施

国連総会における WLD 制定に向け、互いに連携して取組を進めることを確認



令和 5 年(2023 年)11 月 6 日

第 19 回世界湖沼会議のサイドイベント

「ILEC- UNEP 国際コロキウム"SLM の推進に向けて: 課題、現状、教訓"」

インドネシア政府関係者から湖沼の重要性、生態系の劣化、保全の緊急性等について考える日として WLD 制定に向け各国政府に呼びかけが行われた他、滋賀県及び米国ミシガン州から「びわ湖の日」「ミシガン湖淡水週間」の取組紹介が行われ、高橋 ILEC 理事から「WLD 制定に向けて湖沼関係者間の連携を強化する機会となった」との総括があった。



令和 5 年(2023 年)11 月 7-9 日

第 19 回世界湖沼会議(WLC19) ハンガリー・バトンフェレド

バトン宣言

「国連総会での『世界湖沼の日』の制定の実現に向けて、先導する各国政府および関連する国内外の非政府組織への支援を加速、強化する。「世界湖沼の日」の制定は、湖沼が人間の淡水需要や生態系の健全性、生物多様性において果たしている重要な役割に対する国際的な注目を集めるのに多大な貢献をする。」



令和 5 年(2023 年)11 月 22 日

第 22 回水と災害ハイレベル・パネル(HELP22)がマニラ(アジア開発銀行本部)で開催

サントス-ボルハ科学委員会副委員長が参加し、WLC19 の成果報告(WLD 関連含む)

令和 6 年(2024 年)5 月 20-24 日

第 10 回世界水フォーラム(WWF10) インドネシア・バリ

➤ ハイレベルパネル15 “バンドンスピリットウォーターサミット” (5 月 21 日)

セレモニーでバスキ公共事業住宅大臣が、南南協力の枠組みの中で 3 つの提案(「世界湖沼の日」の制定、「水と気候レジリエンスのためのセンター・オブ・エクセレンス」の設立、「小さな島々における統合的水資源管理」の重要性)を推進すると挨拶



基調講演: 天皇陛下による「繁栄を分かち合うための水」(WWF10 テーマ)についてビデオ講演

閣僚宣言: ハイレベルパネル(コーディネーター: 廣木 ILEC 理事)終了後の閣僚級会議で「世界湖沼の日」制定の推進を含む3つの提案が採択された。

MINISTERIAL DECLARATION ON “WATER FOR SHARED PROSPERITY”

THE 10th WORLD WATER FORUM BALI, INDONESIA, 20-21 MAY 2024

「5. 水の可用性とアクセス性に貢献する重要な水資源としての天然湖と人工湖の役割を強調するために、国連のプロセスにおいて世界湖沼の日を提案する。」

➤ ハイレベルパネル13 “Urgent Call to Save our Lakes- Promoting Global Agenda and Collaborative Efforts for Sustainable Lake Management and Raising Momentum of World Lake Day”(5月21日)

(私たちの湖を守るための緊急要請- 持続可能な湖沼管理のためのグローバル・アジェンダと協働の推進、世界湖沼の日の提起)

中村副理事長が竹本理事長代理として挨拶。ILEC とインドネシアの長期的な協力関係、WLC19、UN2023 水会議での取組、特に WLC19 バラトン宣言においても「世界湖沼の日」の制定が提唱されたことを紹介



三日月大造滋賀県知事から琵琶湖の水質保全に関する教訓の共有と、湖沼を守るための学生の協力(うみのこ)、「びわ湖の日」や「マザー・レイク・ゴールズ(MLGs)」など琵琶湖の再生に向けた取組を紹介



➤ スペシャルセッション11 “Sharing of Knowledge, Spirit and Action on Sustainable Lake Management-Raising Momentum of World Lake Day”(5月23日)

(持続可能な湖沼管理に関する知識、精神、行動の共有 - 「世界湖沼の日」の機運を高める)

中村副理事長の基調講演、山本滋賀県琵琶湖保全再生課長による「滋賀県・琵琶湖における持続可能な管理について～世界湖沼の日に勢いを与える」の発表



➤ スペシャルセッション9 “Establishing Cooperation for Center of Excellence on Water and Climate Resilience”(5月22日)

(水と気候レジリエンスのセンターオブエクセレンスのための協力体制の確立)

4つのワーキンググループに分かれてのグループディスカッションでは”Sustainable Lake Management”グループにてサントス-ボルハ科学委員会副委員長がモデレータを務めた。

令和6年(2024年)9月24日

国連総会における「世界湖沼の日」に係るハイレベル特別イベント in New York (Special High-level Event on “World Lake Day” at UNGA in New York)

竹本理事長がハイレベルスピーチ(ビデオスピーチ)

「世界湖沼の日は象徴に加え国際行動をモビライズするプラットフォーム」

